

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2017年8月
-----	---------

1. 留学先について

留学先大学名	サラマンカ大学、スペイン											
留学先所属学部等	文献学部(Facultad de Filologia)											
留学期間	出発日	2016/9/12	入学日	2016/9/16	修了日	2017/6/30	帰国日	2017/7/13				
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/> 民間アパート		<input type="radio"/> その他()								
	通学時間	20分						On campus				
	通学方法	徒歩										
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	<input type="radio"/> (2) 人部屋	<input type="radio"/> その他()								
	共有スペース	<input type="radio"/> 完全個室	<input type="radio"/> キッチン	<input type="radio"/> トイレ	<input type="radio"/> バス	<input type="radio"/> リビング	<input type="radio"/> その他(食堂)					
食事	自炊	%	学食	<input type="radio"/>	%	外食	<input type="radio"/>	%	その他	()		
保険	海外旅行保険(名称)	AIU海外留学保険										
	派遣先大学指定の保険(名称)	On Campus								<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入		
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田 ⇄			ブリュッセル				⇄ マドリード				

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,646,180	円					
出処							
自費	貯金	円	<input type="radio"/> アルバイト	150,000	円	その他	円
援助	<input type="radio"/> 両親	596,180	円	<input type="radio"/> 家族・親戚	円	その他	円
奨学金	<input type="radio"/> JASSO	800,000	円	<input type="radio"/> その他名称()	円		
その他	<input type="radio"/> 千葉大学助成金	100,000	円	<input type="radio"/> その他()	円		

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	50,000	円	その他()	円
留学中		海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	千葉大学学費2学期分 口座引き落とし
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			173,840	円
海外旅行保険			220,000	円
OSSMA			19,440	円
査証・在留許可証			5,000	円
住居			650,000	円
食費			250,000	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	ユーロ	50	6,450	円
その他大学に支払った経費	ユーロ	50	6,450	円
光熱費				円
その他 (旅行)			315,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 Gramática para la enseñanza del español I	正規	3	○	有	無
2 Gramática para la enseñanza del español II	正規	3	○	有	無
3 Introducción a la narrativa española: novela y cuento	正規	3	○	有	無
4 Literatura Comparada	正規	3	○	有	無
5 Historia de España del siglo XX	正規	4	○	有	無
6 Relaciones Internacionales	正規	6	○	有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

学期初頭に新入生・留学生向けの学部全体ガイダンスがあり履修についての注意事項や履修方法、チューター(教授)などについて説明を受ける。派遣先大学のホームページ上にある時間割やシラバスを参考にして興味のある授業の初回に参加し先生の話し方、授業の進むペースをみる。ホームページ上のシラバスは非常に長く変わることもあるので実際に授業に参加してから決めたほうが良い。履修したい授業が決まったら、派遣先大学の留学生支援課において履修登録用紙をもらう。書式に従って記入し自分の学部の学務に提出する。

3-2. 授業内容、方法に関して

講義科目でも教授が生徒に質問することが多く参加型である。基本的に授業ではパワーポイントまたはレジュメを使って説明するが、たまにどちらも使わず話すだけの先生やレジュメが参考文献からの引用だけである先生もいるので録音して聞き返すなどの対策をする。テストはほとんどが記述式である。普段の授業とは違う時間・違う教室で行うことも多いので、他の授業のテストと被ってしまったら別の日に受けられるよう先生に相談する。

3-3. 語学力について

渡航前に3学期間、なるべく多くのスペイン語の授業(私の場合は一学期につき3,4個)をとりそれぞれでよい成績を収める。しかし授業だけではスペイン語を聞く力・話す力を高めることは難しいため、ラジオやリスニング教材を使ってたくさんスペイン語を聞いたり留学生と交流してスペイン語を話す機会を増やしたりする。読む力・書く力についてはスペイン語新聞を読んだり、日記を書いたりするのも効果的だと思う。また、スペイン語ではどのように言うのだろうかなどと普段の生活の中で考えることで便利な単語を覚えられるので良い。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館に入るために学生証は要らないが、本などを借りるときには必要。各学部棟にパソコン室または大学が管理しているパソコンが使えるスペースがある。週末には図書館からノートパソコンを借りることもできるが月曜日の朝8時までには返却しなければならない。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

大学の寮は町の至る所にあり、大きさや設備もそれぞれである。各学部棟も町全体に散らばって在るので、自分の学部により近い寮を選ぶと登下校が楽。寮によっては寮生同士の交流を促進するイベントや寮対抗スポーツ大会などがある。部屋は二人部屋と一人部屋がある。二人部屋にするとスペイン語を使う頻度が増えスペイン語学習に良い環境ではあるが、人によってはストレスをためてしまうので注意が必要。

4-2. 食生活について

キッチン付きの寮では自炊ができるが、食堂が完備されているためにキッチンのない寮もある。その場合食事のたびに寮に帰ってこなければならないので寮と学部棟が近いことが大切になる。外食もそこまで高価ではないため外で済まして大丈夫。ただ、ソフトドリンクはとても高いので値段に気を付ける。フルーツや野菜は日本に比べてとても安く大きいので気軽に買って調理できるが、外食ではあまり生野菜が食べられない印象を受けた。ただ、肉やチーズなどの種類は豊富でとてもおいしい。スペイン人学生は自分の寮またはアパートに帰って食べたり、外で作ってきたサンドイッチ等を食べていることが多かったと思う。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

大学の施設(寮を含む)にはすべてWiFiが飛んでいるが、古い建物や中庭などではつながりにくい。カフェなども基本的に自分のWiFiを持っているので、パスワードを聞いたりして接続することができる。携帯電話についてはスペイン用に現地で携帯を買う、日本でSimフリーの携帯を買いスペインのSimカードを入れる、ポケットWiFiを借りる、WiFi環境下だけ使いそれ以外ではネットは使えないまま、と様々な選択肢がある。私の場合は日本ですでにSimフリーの携帯を使っていたので到着してすぐにOrangeという会社のSimカードを買い、使ったネット分のお金を払っていた。

4-4. 服装について

日中暖かくても朝晩は冷えるので寝るときの恰好や夜に出かける際には上着を持っていくなど気を付ける。冬は厚手のコートにマフラー、帽子をかぶるほど本格的に寒い。夏はノースリーブに短パンでも大丈夫だが、日が陰ったり日陰に入ったりすると少し寒いので脱いだり来たりできる服装だと便利。サラマンカで過ごす分には大きなリュックや口の閉まらないカバンなどでも問題ないが、マドリードやバルセロナなどの大都市・観光都市にそれで行くとスリの標的になりやすいので口をしっかりと閉められる斜めがけのバックなどのほうが安心。

4-5. 健康管理について

雨や雪がほとんど降らず乾燥しているので人によってはのどを痛めるが、雲一つない晴れの日が多いので精神的にも過ごしやすい気候である。食事の時間が遅いわりには昼夜しっかり食べるので体重の増加には気を付ける。寮や街中にジムがあったり、川の近くには無料のトレーニング施設があるので活用して運動する機会を作る。週末や新学年始まってすぐのころはFiesta(宴会、祭り)が多く夜うるさい時もある。お酒も日本に比べて全体的にアルコール度数の高いお酒が多い印象なのでつぶれたくない場合は度数や飲む量に気を付ける。

4-6. 保険、OSSMAの利用

大きな大学病院があるので医療設備は整っている。診察料は高くなるが日曜日でも受け付けてくれるので安心。ただ、かかりたい医師や内容によっては私立の病院や保健所のようなところに行かされたり、医師の予約が必要ですぐには診察を受けられなかったりすることもある。一度だけ病院にかかったことがあるが、自分では払わず後日保険会社に連絡・手続きをして保険会社からかかった病院に診察料が支払われた。

4-7. 課外活動について

日本の大学でいうサークルのようなものもあるらしいが日本ほど盛んではないため探すのは少々大変。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

毎週末曜日にカフェで開催される日本人とスペイン人の交流会がありそこでは日本の興味のあるスペイン人と知り合うことができるので友達を作りやすい。また、日西文化センター(Centro cultural hispano-japonés)があるのでそこに言語学習を一緒にする相手を募集する張り紙をしたり、開催される日本とスペイン関係のイベントに参加するのもよい。ヨーロッパからの留学生のコミュニティ(Erasmus)向けのパーティーや旅行もあるがそこまで厳しく制限されていないので日本人でも申し込んで参加できる。そのような情報はFacebook上で探すといよい。

4-9. 日本から持参してよかったもの

パーカーなどの上着: 9月に渡航したので要らないのではと思っていたが朝晩冷えるので割とすぐに必要になった。ヒートテック: 普通のTシャツはあるがヒートテックのような機能を持ったものは見つからなかった。クリアファイル: 日本で一般的な2辺が開いているタイプのはスペインでは売っていない。酔い止め: ほかの都市へはバスでの移動が安く、多くなるため必要。日本食(味噌汁・ごはん・お菓子): ホームシックにかかったときや精神的につらい時に食べると元気が出る。カップラーメンや焼きそばは味にこだわらなければ現地でも売っている。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

マスク:私は乾燥で喉を傷めなかったので全く使わなかった。外でマスクをつける文化がないためつけているとよっぽどひどい病気になるだろうと思われてしまうためつけにくく、結局つけなかった。靴:現地でも靴は買えるうえ、行き帰りの荷物・スーツケースの重量を考えると現地で安いものを買って帰る時に捨てるほうが楽。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

人によって差はあるが、全体的に話好きの印象を受けた。出会ったばかりのころは緊張するかもしれないが、身の回りで起こったことなど積極的に話すことで仲良くなりやすいし、相手も話したいと思っている。話すことを大切にする文化という印象で、あいさつをしたり近況を尋ねたりするなどちょっとした立ち話が多い。スペインというと陽気なイメージもあると思うが、静かな人やシャイな人もおりさまざまである。週末には飲み会に誘われることが多く、参加して楽しむことで早く仲良くなれる。体調に気を付けつつ参加すれば人間関係がどんどん広がると思う。年中行事おなかには日本と異なる祝い方をするものがあり、特にクリスマスは家族と過ごす行事である。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

1. ドイツ【観光】2016年12月～1月(14日間)、2017年4月(10日間)
2. ベルギー【観光】2016年12月(1日)、約15,000円(電車移動ドイツーベルギー)
3. オランダ【観光】2017年4月(1日)、約15,000円(電車移動、ドイツーオランダ)
4. イギリス【観光】2017年5月6日～10日(5日間)、約50,000円(飛行機移動、スペインーイギリス)
5. ポルトガル【観光】2017年6月(2日間)、約25,000円(電車移動、スペインーポルトガル)

* 気分転換やストレス発散法など。

友人と会う(食事、旅行)、映画を見に行く、買い物をする、散歩をする、日本にいる家族や友人と電話する

5. その他

5-1. 留学先大学について

サラマンカの街全体がキャンパスのようであり至る所に大学関係の施設があるうえ、留学生を含め街中で頻りにサラマンカ大学生に出会う。そのうえ学生の街ということで食べ物も安く気軽に友人と集まったり食事をする事ができる。大学の授業は難しいが、留学生を気にかけてくれる先生や助けてくれる学生もいる。学生たちはオンオフの切り替えがはっきりしていて、週末やテスト終わりには夜遅くまで(朝まで?)遊ぶが、テスト期間中は1日中勉強している。その期間は図書館が満席になるので学習場所の確保が大変。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

シャイにならず積極的にコミュニティに入っていくと友人ができやすく、その後の生活が楽になる。大学関係で困ったことや疑問はサラマンカ大学の留学生課に相談すると協力してくれるが、受付時間や担当者がいる時間が非常に限られているためアポイントを取ったり時間に余裕をもっていったりする。郵便局をはじめ薬局、本屋、個人経営の店などシエスタ(14:00~16:00くらい)があるので利用する際には気を付ける。国際郵便は大抵の場合遅れるし、送ったもの(薬や食べ物)、用紙の記入方法によっては到着後に再び料金を取られる場合もある。手続きが煩雑になり時間がかかったり料金がかさんだりすることも多いが怒らず焦らず落ち着いて気長に待つ。

5-3. 留学を終えて

サラマンカ大学への派遣の前例がないうえに手続きのほとんどを自分自身でやらなければならなかったため、他大学からサラマンカ大学に留学したことのある先輩に質問したりして手続きを進めた。その為諸手続きの前のリサーチ力、公的機関へ送るメール作成力(日本語、スペイン語)がついたものの、手続きの方法について具体的なサポートがあまりないのは不安だった。また、文章のほとんどがスペイン語で書かれているためそれを千葉大学側に提出する際に日本語に訳さなければならずそのような面でも語学力がついた。渡航前、渡航中、渡航後とすべてにおいて自分で動かなければ何も進まなかったため主体的に動けるようになった。このように自分で考え、調べ、準備する力は今後社会人として生きていくうえでとても重要であると思うので今後も大切にしていきたい。

お疲れ様でした